

私は何者なのか？

— 個とカルマの謎

ルドルフ・シュタイナーの神秘劇第2
劇『魂の試練』では、現生で危機に陥つ
たマリア、ヨハネス、カペジウスが問題
の原因を探して中世の受肉を振り返りま
す。

こういう形で前世を振り返ることは私
達の実人生ではありませんが、私達は、
劇中の彼らの体験と日常に戻ってからの
その帰結を知ることを通じて、いかにカ
ルマの法則が作用するのかを理解し、今
生の諸問題を解決する糸口を見つけられ
るかもしれません。

今年のデーブス氏の講演では、この人
生で私がまとった人格（パーソナリティ）
と転生を超える個（インディビデュアリ
ティ）を区別化しましたが、今回はそ
こに関わる霊的な諸力、悪の問題を加え
ながら、カルマの謎に迫ります。



2019年8月4日(日)

9:30-17時

会場：**横浜市関内小ホール**

〒231-0013 神奈川県横浜市中区住吉町4-42-1
みなとみらい線 馬車道駅 徒歩約5分, 400m
JR 京浜東北線関内駅東京寄り改札北口より徒歩3分

講演：**ミハエル・デーブス氏**

(日本語通訳：香川裕子)

定員： 200名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費： 1日 5000円 半日 3000円

※参加費はデーブス氏の来日・日本での滞在経費もカバーしております。

デーブス氏より

日本で5回目の神秘劇会議の開催
を大変喜んでおります。昨年の12人の
日本の中世の農民のシーンの舞台上
演には感銘を受けました。今年の『魂
の試練』9・10景の上演を楽しみに
しています。私の講演は昨年の続き
として、永遠の個とは何か、カルマ
に悪の力がどうかかわるのかに迫っ
ていきたいと思っております。